

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

泉尾北小	学校	児童数	40
------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.33	17.93	35.50	41.00	50.47	10.15	133.75	20.50	53.07
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	15.70	18.35	41.20	42.82	43.47	9.77	133.95	13.53	56.94
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

結果の概要

【体力合計点において】男女ともに全国平均、大阪市平均を超える結果となった。
T得点(全国平均を50.0とした得点)は、男子…50.5 女子…53.0であった。

【質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」において】肯定的な回答（好き、やや好き）において、男子は100%（全国92.9% 大阪市92.6%）女子は90%（全国85.7%、大阪市83.5%）と男女ともに高い数値となり、運動に対する興味・関心の高さがうかがえた。

【1週間の総運動時間において】60分に満たない児童の割合が、男子は6.2%（全国9.0%、大阪市10.5%）女子は15%（全国16.2%、大阪市18.3%）であった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

【これまでの取組と成果】

- ・「みんなあそび」の時間を全学年で取り入れたため、休み時間に運動を行う児童の割合が増えた。またたてわり班の活動や異学年交流の時間が昨年度より大幅に増えたことも全国平均を超えた一因となっていると考える。
- ・3学期には「なわとび週間」、「ジョギング週間」を行った。なわとび週間では低・中・高、それぞれのレベルにあった技カードを配布し、全てをクリアした児童にはさらに上の技が書かれているカードを配布するシステムにした。また、ジョギング週間ではアップテンポな曲を流して児童のペースが刻みやすいようにした。加えて3学年ずつに分けて走らせたため運動場のスペースに余裕ができ、個人のペースで走ることができた。2月開催の「マラソン大会」を目標に、児童はこれらの取組に対して意欲的に取り組んでいた。残念ながら今年度マラソン大会は雨天中止となつたが次年度への意欲を見せていました。

【今後取り組むべき課題】

- ・昨年度の結果を踏まえ、全教職員がラダーや投げきトレーニングの教具を積極的に用い、体力および運動習慣の向上に取り組んできた。その結果半分以上の実技項目において全国平均を上回ることになった。次年度は反復横跳び（俊敏性）、立ち幅跳び（瞬発力）の向上を課題として取り組んでいく。